令和 7 年 3 月 19 日

環境管理責任者 様

代表環境監査員(監査事務局長)

令和6年度環境監査(定期監査)結果の報告等について

標記について、中央区内部環境監査手順書の規定に基づき、下記のとおり報告等を行います。

記

1 環境監査の概要

- (1) 監査員 課長級職員(40名)
- (2) 監査対象 適用範囲内の課および施設(40/172箇所)
- (3) 実施時期 令和6年10月28日(月)～令和6年12月13日(金)
- (4) 実施方法 環境監査員2人1組で監査対象の各課・施設の現場で実地監査を実施

2 環境監査の結果

(1) 判定

指摘事項	不適合	1件
	改善事項	0件
優良事項		22件

(2) 監査総括

ア 指摘事項

「不適合」はフロン排出抑制法に基づく点検・整備記録簿の未作成に対する指摘であり、法令遵守の徹底を指導し、監査後速やかに改善されている。

「改善事項」はなかった。

イ「優良事項」・その他独自の取組

(ア) 地域・集会施設

ゴミの分別やモノクロ印刷など日々の環境配慮活動に取り組みながら、資源の再利用や省エネに関する内容の講座やイベントを開催するなど日常的な環境配慮活動が行われている。

(イ) 学校教育施設

通知の電子化を推進することで印刷物の削減している。加えて、資源を再利用した工作や清掃活動への参加、環境作品コンクール等の活動の中で環境問題に触れる機会を作り、児童に関心を持たせるよう取り組んでいる。

3 今後の対応

(1) 優良事項等については、環境マネジメント研修で紹介するなど、水平的な展開を図る。

(2) 近年の気候変動の影響によってはエネルギー使用量の増加がやむを得ない状況にあるが、各施設でも積極的に省エネ活動に取り組んでいる。再生可能エネルギーの導入も推進しているため、人感センサーの活用や中央区施設管理マニュアルに基づいた設備の適正運転を図るとともに、適切なエネルギー使用をより一層推進していく。